

「平成30年7月豪雨」から学ぶ

災害から 身を守る

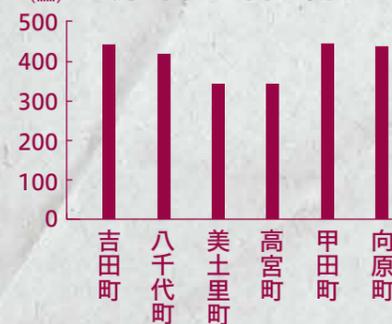
ということ

台風7号と発達した積乱雲が線状に連なる「線状降水帯」の発生により、昨年7月5日から7日にかけて記録的な豪雨となった「平成30年7月豪雨」。橋や道路の崩壊、上下水道なども被害を受け、市民のみなさんの暮らしにも大きな影響を与えました。
そして、今年も雨の多い季節がやってきます。昨年の被害から、今私たちにできることを考えてみましょう。

安芸高田市の

「平成30年7月豪雨」を振り返る

7月5日～7日の雨量



断水

1,331戸

避難者数(7月5日～7日)

吉田町	509人	甲田町	217人
八千代町	103人	向原町	273人
美土里町	39人	合計	1,198人
高宮町	57人		

死者

2人

行方不明者

1人



下水道施設の損傷

7か所

道路の崩落等

85か所



橋梁の崩落

3か所

林道施設の被災

105か所

河川の護岸損傷等

217か所

被害額

河川・道路 約43億9,000万円

農林土木施設 約6億5,000万円

上下水道 約1億4,000万円

農作物 約2,000万円

住宅被害

全壊 1棟

半壊 1棟

一部破損 1棟

床上浸水 19棟

床下浸水 88棟

農地農業用施設の被災

426か所

山腹等崩壊

17か所

配水管・給水管の被災

16か所

